

航空レーザ測量成果を活用した森林資源調査 (樹種、樹高、樹木本数等から材積を算定)

概要

- 計画的な森林整備や森林資源管理が求められるが、標準地調査などのサンプリング調査では広大な森林の現況を把握することが困難
- 航空レーザ測量で得られる地形や樹木の情報から広域的な樹種、樹高、樹木本数等の把握を効率化
- 単木の位置情報、樹種、樹高からの胸高直径を推定し、単木、区域(小班等)単位で材積を算定
- 針葉樹人工林については過密林の範囲・面積を算出し要間伐候補林を抽出

導入効果

- 現地調査(毎木)の費用低減、調査員の負担軽減
- 広域(自治体単位・森林組合の管理区域全体等)で同時期に均質的なデータ取得
- 取得した単木情報は位置情報と共にGISで管理できることで詳細な施業計画等の策定が可能
- 森林資源情報と共に詳細地形情報(路網状況・傾斜区分等)を同時に取得でき、林道・作業道の検討が可能

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

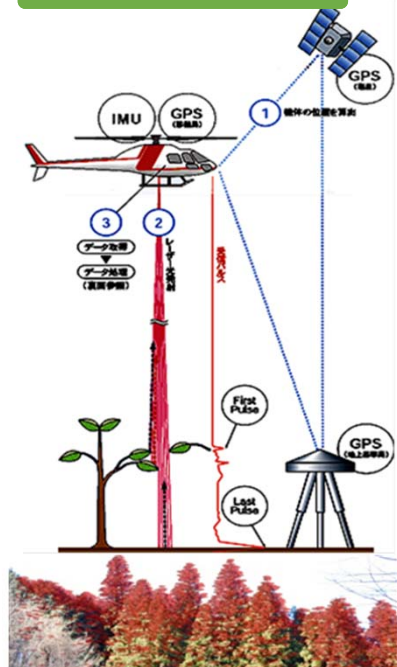
○該当するニーズ

項目	林業(1)計画
技術ニーズ	資源管理
具体的なニーズの内容	レーザ計測等を活用し、一定区域内の単木ごとの位置、樹種、材積、品質等を把握する技術

○開発等の段階

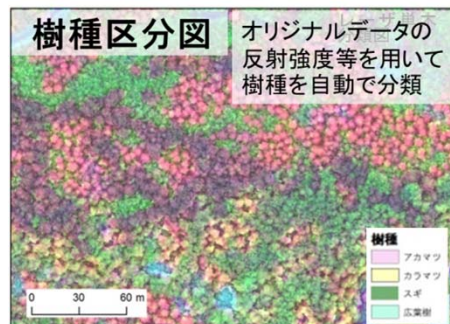
開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

航空レーザ計測

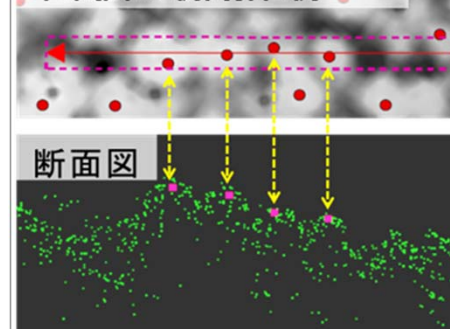


レーザパルス照射イメージ(赤点)

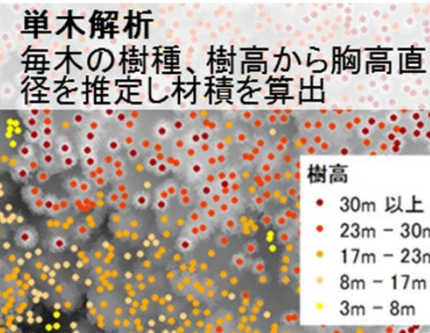
樹種・樹高等解析



単木抽出と樹高算出例



収量比数・材積の算定



収量比数の算出



📍連絡先

空間情報事業本部 営業企画部
TEL:049-244-4817

<https://www.aeroasahi.co.jp/contact/spatial/>

お問い合わせフォーム

